

(別紙4(2))

事業所名 グループホームつぐみ押切

## 目標達成計画

作成日: 令和4年 11月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	新しい管理者が配置されることは前管理者から利用者家族には伝えていますが、未だ全ての家族に新管理者は会えてないため、自己紹介のお便りをだしておくことを期待します。	利用者の家族とは、面談や、日頃から連絡を取り合い、家族からも気軽に相談頂けるような関係性を構築する。	まだ面談できていない利用者の家族に、ご挨拶をかねて電話連絡し、今後の来所予定を確認して面談の機会を作る。面談後も定期的に連絡して家族が相談しやすい環境を作る。	6ヶ月
2	35	夜間想定や台風対策など、一つひとつのリスクや課題を解決すべく、法人の委員会との連携を期待します。	水害対策について具体的なマニュアルを作成する。	台風による水害について、9月に実際に体験した時の情報から改善点を考える。そして会社の防災委員会と連携して具体的な対応策を検討する。	6ヶ月
3	36	「つぐみカフェ」は利用者がメニュー表から選べなくなったことから「口頭できく」ようになったことですが、症状に応じて主体性もてるよう更に検討が進むことを期待します。	利用者がより主体性をもった選択ができるように、ドリンクやデザートだけではなく日頃の料理においても、利用者の症状にあわせた個別メニューを作成する。	利用者が好む料理について、あらためて本人や家族にリサーチする。その情報をもとにスタッフでアイデアを出し合い新メニューを検討する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。